

ドローンがみた、 おぐにの風景

No. 56



⑤6 越中里地区

越中里地区には、学問の神様として有名な菅原道真を祀る「菅原神社」があり、境内には町指定文化財である「男神像」があります。『小国町の文化財』（小国町誌編集委員会編 1999年）によるとこの像はかつて当地を治めていた上杉家の氏神を祀ったものといわれており、神像は町内に限らず、県内においても数が少ないため、貴重な資料であるとされています。

撮影した5月19日は遠くにそびえる飯豊連峰が昨季の大雪の残雪で、この時期には珍しく白い雪化粧をまとっている様子がみられた一方で、地区の周囲を見渡せば田んぼの水張りが始まっている所も見受けられ、季節の移ろいをいたる所で感じることができました。